

原風景の残る 三大谷戸



▲石川丸山谷戸



▲川名清水谷戸

遠藤笹窪谷戸▼



川名清水谷戸は、四季折々の彩りを楽しめる新林公園とともに川名緑地を形成する藤沢駅至近の豊かな自然です。石川丸山谷戸は、手をかけて維持されている棚田を豊かな自然が取り囲み、見事な里山の景観を残しています。遠藤笹窪谷戸は、多様な生態系が息づく貴重な森林が今なお残り、竹林は地域交流の場としても活用されています。

中央けやき通り 湘南ライフタウン



およそ5kmにわたって続くけやき並木は、昭和40年代より計画的にまちづくりが進められた湘南ライフタウンを南北に貫くメインストリート。春の新緑、夏の木陰、秋の紅葉、冬の筈立ちの力強い姿など、四季折々の変化が湘南ライフタウンの生活のリズムを刻んでいます。

あじさいと 彼岸花の 小出川



6月は上流部およそ500mの間に小出川の両岸に植栽されたあじさいが満開となり、9月は遠藤から打戻を経て寒川に至るおよそ3kmの区間に彼岸花の“赤い帯”が続きます。見頃の時期にはあじさいまつりや彼岸花まつりが開催され、多くの観光客が訪れます。

江ノ電の走る 風景



藤沢駅から鵜沼を走り鎌倉へと抜ける江ノ電は、開業100余年を迎え、すっかりわがまち藤沢の走るシンボルとなりました。夕日を浴びて境川の鉄橋を渡る光景、祭りで賑わう龍口寺前の急カーブや小さな踏切を通り過ぎる姿は、市民の心に刻まれる藤沢らしい情景の一つです。

地域らしい魅力ある景観

私たちの身近なところには、個性ある街並み、心和む田園風景、川縁の散歩道、地域に愛される桜並木等、地域らしい魅力ある景観がたくさんあります。

わがまちふじさわ景観ベストテンでは、これらの景観を発掘・再認識するため、市内13地区ごとに10の景観を選考しました。

